

様式第3号(第12条関係)

会議録

会議の名称	令和5年度第2回吉川市歯科口腔保健推進協議会
開催日時	令和5年10月4日(水) 午後1時30分から午後2時45分まで
開催場所	吉川市保健センター 母子保健指導室
出席委員(者)氏名	伊達敬規委員、戸張英男委員、鈴木薫委員、岩本洋子委員、 程田浩司委員、山口剛介委員、石田和親委員、小林和雄委員
欠席委員(者)氏名	なし
担当課職員職氏名	健康増進課 課長 互英久 健康増進課 課長補佐兼健康づくり支援係長 鈴木忍
会議次第と会議の公開又は非公開の別	1 開会 2 議事 (1) 計画の構成について (2) 具体的な取り組み等について ①具体的な取り組みや「みんなでできること」について ②目標について 3 その他  【公開】
傍聴者の数	なし
会議資料の名称	1. 令和5年度第2回吉川市歯科口腔保健推進協議会次第 2. 資料1 吉川市歯科口腔保健推進計画構成案
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	程田浩司委員、山口剛介委員

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)

会長

○議事

はじめに、本日の会議録署名委員を程田委員と山口委員にお願いします。また、本会議は傍聴要領に基づき公開とし、傍聴を認める者の人数を5名とすることを報告する。

それでは、議事に入る。議事(1)計画の構成について、事務局より説明願いたい。

事務局

**議事(1)計画の構成について**

※資料1「吉川市歯科口腔保健推進計画構成案」のとおり説明。

前回、第2次計画も現在の計画の構成を基本とすることを決定しているが、案の作成にあたり変更した部分がある。主なものとして、第1章に「SDGsとの関連」を追加し、計画の推進によりSDGsの目標達成に貢献することを明確にしたこと。また、第3章の「むし歯予防のためのフッ化物局所応用の啓発」について、前回、保健センターでのフッ化物塗布事業の利用者が減少し、かかりつけ歯科医での塗布が増えているとの意見があったことも踏まえ、「子どものフッ化物塗布を保健センターにて実施する」との記載を「かかりつけ医による定期的なフッ化物塗布を推進」するよう変更した点。また、計画の実行性を高めるため、ライフステージ等に応じた取り組みの中に市民自らができることとして「みんなでできること」を追加した点である。

会長

健康長寿を全うするための入口として歯科口腔の健康を維持するということを基本に考えていきたいが、構成について意見や質問はあるか。

質問等がなければ、議事(2)のうち①具体的な取り組みや「みんなでできること」について、事務局より説明願いたい。

**議事(2)具体的な取り組み等について ①具体的な取り組みや「みんなでできること」について**

※資料1「吉川市歯科口腔保健推進計画構成案」のとおり説明。

会長

フッ素塗布は保険診療外となっている。むし歯があれば保険適用となる部分もあるが、予防という観点からすると費用負担がある。保健センターの場合は1人800円だが、最近は親が子どもを気に掛けるようになり、かかりつけ歯科医があればそこへ行ってやってもらうという人も増えたので、保健センターのフッ素塗布の利用が減っていると思われる。

委員

むし歯予防のためフッ素塗布を促すと、歯医者さんは怖いから行きたくないとの話をされることがある。歯医者さんを怖がる子は多く、まず

<p>会長</p>	<p>保健センターのフッ素塗布を受け、慣れたら歯医者でやるように説明している。保健センターは慣れた場所であり、安心してできるという話が結構多い。</p> <p>保健センターに来て、みんなでやると安心するという面もあり、集団で行う効果も十分あると思う。</p> <p>口の中を見せることに慣れることも推進したいと思っている。口の中を見せることに慣れ、それが大事なことだという意識を子ども時代に持つことが必要であり、検診を続けていくことは大事だと思っている。</p> <p>また、お母さん達にある程度の知識を持ってもらうことを目的に歯科医師会では無料妊婦健診を実施しているが、人数的にはもう少し普及させたいと考えている。</p>
<p>委員 副会長</p>	<p>無料で行っていることを知らない人が多いのではないかな。</p> <p>母子手帳交付時やパパママ学級での案内はしているが、参加者が少ない。ポスター等を掲示しても良いのではないかな。</p>
<p>事務局 会長</p>	<p>妊婦に対する事業周知に引き続き努めていく。</p> <p>今の吉川市は人口的、大きさにまともりやすいと考える。色々な具体案が出れば、実行しやすい状況かと思う。</p> <p>小学校入学前には未就学児健診を学校単位でやっているが、とにかくこの時期にむし歯にしないようにしていく。ここからむし歯になりやすい年齢に入る。にこにこ歯みがき教室や保育園・幼稚園・学校における取り組みにより、埼玉県平均と比べると吉川市はずっと良い数値が出ており、結果が出ているかと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>小1、小5、中1を対象に歯みがき指導を行っているが、小1から小5までは4年間空いてしまう。4年たつと歯みがきのポイントなどを忘れてしまっていて、小3頃に一度あると良いと感じている。</p>
<p>会長</p>	<p>3年生を過ぎるとむし歯も増えてくるので、この時期は大事だと感じている。混合歯列期には予防が絶対的に必要であり、その一番ピークが8歳、9歳の3年生である。その年代に合わせた歯のみがき方もあるだろう。</p>
<p>副会長</p>	<p>赤ちゃんは吐き出しができないため、以前は歯みがき剤を使用しないお母さんがいたが、今年2月に4学会合同の歯みがき剤の推奨する利用方法が発表され、歯が生え始めたら米粒大の歯みがき剤を使ってむし歯予防をするという方向になっている。また、以前は450ppm位のフッ素濃度だったが、今は1,000ppm位使うようになっている。2歳までが米粒大、3歳から5歳はもう少し多くなり、6歳以上は成人と同じ高濃度のものを使うよう推奨する内容に変わってきているので、それをアピールできれば良いと思う。「歯が生えたら歯みがき剤を使いましょう」とか、そういうことができるか良いのではないかな。</p>
<p>会長</p>	<p>昔は歯みがき剤を使わなくても良いという時もあったが、歯みがき剤</p>

	<p>は重要である。歯ブラシで擦るだけでは歯の表面についた汚れが取れるだけであり、エナメル質は発育途中に強化することが大事である。フッ化物の入った歯みがき剤を使うことは非常に重要なことである。歯みがき剤を付けてみがくということを経済歯科医師会ではアピールしており、パパママ学級やにこにこ歯みがき教室の場でも推奨していくと良い。</p> <p>歯に関しては、中学生、高校生となってくると怠慢になるため、学校の中での取り組みをと思う。歯のポスターコンクールに参加したりはしていないのか。</p>
委員	<p>案内はしているが、同じような時期に様々な絵画コンクールの依頼があるため、歯のコンクールに取り組むというのがなかなか難しい状況かと思う。</p>
副会長	<p>学校によって歯みがき剤を使って良い学校とそうでない学校がある。歯みがき剤を使っている方がむし歯は少ない。流し場の問題等もあるかと思うが、永久歯が生えてきた頃に歯みがき剤が使える工夫ができると良いと思う。</p> <p>妊娠期の部分に戻るが、みんなのできることをして「生まれてくる赤ちゃんのため、みんなでむし歯予防をしていきましょう」というのも良いのではないか。</p>
会長 委員	<p>成人期は本人に任せる時期であるが、歯周病検診などを行っている。</p> <p>自分の口の健康を自分自身で守ることによって歯の寿命が延伸できれば、健康な生活を送れるということにつながるので、早め早めに本人が動く自覚や習慣を持ってもらえるとありがたい。</p>
会長	<p>関心のある方は定期的に歯科医にかかっている。治療のために歯科医にかかるのではなく、予防のためにかかるという意識の啓蒙を進めていきたいと思っている。</p>
委員	<p>先日開催した講演会では講師が認知症対策には歯が大事だという話をしていた。歯がないと食べられないため食が細くなり、フレイルとなって認知症にもつながるということを丁寧に説明しており、聞いている人の反応がとても良かった。啓発するためには、こういった機会がとても重要だということを実感した。</p>
会長	<p>ちょっとしたきっかけから意識が高まるということはあると思う。吉川市ではよい歯のコンクールに非常にたくさんの応募があり、健康な人の率はかなり高いと思う。</p>
副会長	<p>当初、8028にするという意見もあったが、ハードルが高いため8024に落ち着いた。</p>
会長	<p>ものを噛んで食べられるということが健康長寿のために、いかに重要かということを実感したい。</p>
事務局	<p>今後、よい歯のコンクールについては少し基準を上げて、よりグレードの高い表彰になれば良いと考えている。</p>

副会長	<p>成人期・高齢期にみんなのできることをして「年1回はかかりつけ医に行きましょう、バースデーチェックに行きましょう」というのはどうか。20代後半から歯周病の人の割合が高くなっている。高齢になっても歯が残っている人が増えており、むし歯や歯周病に罹る人も多くなっているため、かかりつけ医でみてもらうことは大切かと思う。</p>
委員	<p>高齢者では舌の汚れが多い人が多い。歯科医にかかっているときれいだが、かかっていない人は口の中が汚れている状況である。</p>
会長	<p>口腔機能低下症という疾患があり、保険適用である程度検査ができるようになっている。高齢になったら定期的に口腔機能低下の検査をすることが重要である。そういった検査がある、できるということをアピールしていきたい。</p>
委員	<p>障害をお持ちの方は外出することが大変なこともあるかと思うが、歯科検診や治療は重要だと思っている。訪問診療を利用したりして、口腔ケアを行うことは重要だと認識しているが、どのように啓発するのが難しい。コツコツやっていくしかないのかなと思っているところである。</p>
副会長	<p>コロナ禍以前は年1回、フレンドパークに行って歯科検診を行っていた。近隣の障がい者施設をみると、松伏町はコロナ禍でもやっていた。フレンドパークでも再開できると良いなと思っている。</p>
委員長	<p>自分ではみかけない等の色々な場合があるかとは思いますが、口の健康に関しては障がい者も一般の方と同じように対策していきたいと思う。</p>
副会長	<p>高齢になって味が分からなくなったという人もいますが、これは舌の汚れが関係している。高齢期、要介護者、障がい者のみんなのできることをして「歯みがきプラス舌みがき」を入れると良いのではないかと思う。</p>
会長	<p>介護施設との連携ができると良いが。 他に質問等がなければ、議事（2）のうち②目標について、事務局より説明願いたい。</p>
	<p><b>議事（2）具体的な取り組み等について ②目標について</b> ※資料1「吉川市歯科口腔保健推進計画構成案」のとおり説明。</p>
事務局	<p>目標1、目標2については国でも参考指標の一つとしており、本市としても継続したいと考えている。目標3から目標5のにこにこ歯みがき教室や歯周病検診、よい歯のコンクールに関する目標については、これまでの推移とこれから先の比較ができるよう継続したい。 なお、目標4の歯周病検診に関する令和4年度実績がゼロとなっているが、令和4年度はコロナの感染拡大に伴い、会場のスペースが取れず実施できなかったためである。</p>
副会長	<p>以前は3歳児、12歳児のむし歯の数があつたかと思うが、今後は入れないのか。</p>

